

平成30年度 岸和田市指定管理者モニタリングチェックシート

1. 基本情報

施設名（所在地）	岸和田市立福祉総合センター		
指定管理者名	社会福祉法人岸和田市社会福祉協議会		
指定管理料	81,616千円	指定管理期間	平成29年7月18日～令和2年3月31日（2年8ヶ月）
公募/非公募	非公募	施設所管課名	福祉部福祉政策課
施設運営の根拠となる計画等	岸和田市立新福祉総合センター基本計画		

2. 事業報告書の概要

管理業務の実施状況	基本協定に基づき、施設の管理は適正に行われている。
運営業務の実施状況	平成30年度事業計画に基づき、施設の運営業務は適正に行われている。
施設の利用状況	利用者数推移（3か年度分記入してください。）
	H28：151,912人 H29：160,292人 H30：191,014人
	入場料収入等推移（3か年度分記入してください。）
	入場料は徴収していない。
	上記推移の理由等
施設の老朽化に伴い建替。多用途複合型施設として平成29年7月18日新OPEN。OPEN後は、順調に施設利用者が増加している。	
施設全体利用状況	
	H30.4月利用回数 521回、利用人数 13,279人、利用率 42.8%
	H31.3月利用回数 728回、利用人数 15,964人、利用率 57.8%

3. モニタリングチェック

総合評価	個別評価・理由・意見等
A1	1 履行確認
	A1 計画に基づき、適正に履行されている。
	2 サービス水準の確認
	A2 適正なサービス提供がなされている。
	3 事業収支の確認
A 適正に執行されている。	
	総合評価理由・意見等
	新センター運営等に関して利用者への周知がされ、順調に利用者増加に繋がっている。また昨年9月の台風時には、防災拠点（避難所）として大きな役割を果たすことが出来た。今後引き続き『高齢者福祉・障害児発達支援・障害者福祉・市民活動推進・地域福祉推進・防災』の6つの拠点としての役割を担うべき、各種関係機関との連携を図りつつ、より一層の市民福祉の向上を目指してもらいたい。

4. 今後の方向性

前年度の業務実績を振り返り、今年度どのような取組みを実施する予定か（今年度の事業計画書等に反映された点）。	<p>【施設維持管理について】</p> <p>順調な利用者増加傾向に満足することなく、より利用しやすいまたは仲間作りのきっかけとなるよう、施設運営に努める。具体的には、施設1Fエントランス部分（これまで物置場として利用）に「ギャラリー兼待ち合わせコーナー」を設置。個人作品展示用パネルや休憩・憩いの場としてソファなどを設置、提供する。</p> <p>【各種講座等】</p> <p>一部定員割れの各種教養講座やボランティア養成講座は、改めて利用者ニーズ調査等を積極的に行い、参加しやすい環境づくりに努めるとともに、講座実施方法の変更（取捨選択含む。）など利用者に支障がないよう配慮しつつ、順次見直しを行う。また定員オーバーであった「ちぎり絵講座」は、講師と協議のうえ今年度から定員を増やすなどの対応をしている。</p>
---	--